



Photo 1 東京会場で行われたパネルディスカッション。2 アイデアとアプリを発表する、参加者ら

2



1

開発したアプリを検証 宮崎と東京をつなぐハッカソン

3月23日、24日に「宮崎と東京をITでつなぐハッカソン（株）NTTデータ主催、3月12日開催」で誕生したアイデアとアプリを使った実証実験が行われました。東京在住のIT技術者ら11人が小林を訪れ、農家民泊を体験しながら開発したアプリを検証。東京大手町の「3×3 Lab Future」では、小林と東京をインターネットでつなぎ、結果を発表。東京会場の小林市長やえびの市長らが、アイデアとアプリを審査し、「DORONKO

FESTIVAL@丸の内」が最優秀賞を受賞しました。今後、さらに検証を重ね地方と東京をITでつなぐ新たな仕組みをつくり地域活性化につなげていきます。

また、24日には東京会場で「宮崎と東京でITでつなぐ地方創生」をテーマとしたシンポジウムを開催。小林市長、えびの市長と高原町長などがパネリストとなりパネルディスカッションが行われ、地方創生に関する意見を交換しました。



3

和牛・乳牛 135頭が出場 小林市総合畜産共進会

4月8日、第11回小林市総合畜産共進会が小林地域家畜市場で行われました。和牛4部門に108頭、乳牛4部門に27頭が出場。和牛は谷之木保幸さんの「めぐみ」号が、乳牛は谷口俊文さんの「バレービュー フィーバー ブリッツ」号がグランドチャンピオンを獲得しました。各部門の順位は以下のとおりです。【結果・敬称略（順位順）】■和牛の部▽雌子牛 = 土居正人、金崎茂、新田省一、下別府忠、吉村貞巳▽去勢子牛 = 今村鉄男、内窪善吉、迫間紀美弘▽育成



4

Photo 3 和牛のグランドチャンピオン谷之木さん。4 各部門で優等1席を獲得した乳牛、デイリープリンセス、関係者ら。

1類 = 土居正人、黒木博、上田茂美▽育成2類 = 谷之木保幸、今村鉄男、川久保光夫■乳牛の部▽乳牛1類 = 轟木和広、黒木英教、早田卓史▽乳牛2類 = 谷口俊文、谷口俊文、永田一成▽乳牛3類 = 谷口俊文、中村大輝、温水洋志▽乳牛4類 = 谷口俊文、谷口俊文、谷口俊文■種牛団体▽和牛の部 = 野尻町畜産振興会■枝肉共励会▽肉牛の部 = 坂下牧場■環境衛生共励会▽養鶏の部 = 福元正克▽養豚の部 = 桑水流敏郎■乳質改善共励会▽乳牛の部 = 黒木英教

第5回のじりこびあ桜まつり

3月20日、「のじりこびあ桜まつり」が行われました。市内外から約1万人が来場し、昼の部では、自衛隊音楽部の演奏やバルーンアートの実演、宮崎牛や特産品のメロンが当たる抽選会を実施。夜の部では、焼肉大会を行いました。



まきばの桜まつり 2016 開催

3月26日、27日、まきばの桜まつり2016が行われました。4000人が来場し、キャビアの振る舞いや特産品を販売する「さくら市」、花苗の配布など多彩のイベントを実施。26日には花火が打ち上げられ、夜空を花火が彩ると会場からは歓声と拍手が起っていました。



写真・エピソード17作品が受賞

3月27日、てなんど小林プロジェクトの西諸弁エピソードコンテスト(応募総数:41作品)と写真コンテスト(応募総数:173作品)の表彰式が行われました。エピソードは5作品に、写真は、風景と人の2部門で12作品に各賞を送りました。



天然記念物のエヒメアヤメを鑑賞

4月2、3日にエヒメアヤメを守り育てる会主催のエヒメアヤメ祭りが勸請丘公園でありました。約100人が来場し、天然記念物エヒメアヤメを鑑賞。大園良一会長は「来場者は去年の倍以上。興味を持ってくれる人が増えてうれしい」と話していました。



子どもから大人まで楽しめる「もろもろカッタン」シリーズ。市内の難読地名を歌にあわせて紹介しています

小林市民劇団 25馬力が西諸弁を使った動画を制作

市は、小林市民劇団25馬力に「西諸弁を使った」動画制作を委託し、3月までに6本の動画を公開しました。学校での授業風景、市内の地名の紹介、ご当地デュエットソングなど地域資源である西諸弁の楽しさを伝える内容となっています。てなんど小林HP、小林市公式Youtubeでご覧いただけます。



市の防災マップについて説明する田島さん。市内外から約120人が来場し、硫黄山の火山活動の状況や防災対策を学びました

硫黄山の現状と対策を学び防災への意識を高める

3月29日、霧島ジオパーク講演会「硫黄山のいま」が文化会館で開催されました。講演には、霧島ジオパーク推進協議会専門員石川徹さんと日本工営(株)の田島靖久さんが登壇。田島さんは硫黄山の現状を説明し、「地域で防災について話し合うなど事前に対策を考えることが大切」と話していました。

三松中ハンド部・バレエ部が全国・九州大会へ出場

3月22日、三松中の女子ハンドボール部が全国大会出場を、男子バレーボール部が九州大会出場を市長に報告しました。同校生徒ら27人が出席し、女子ハンドボール部主将の蔵本愛さんは「感謝の気持ちを忘れず、今まで練習してきたことをすべて出し切りたい」と決意を話していました。



男子バレーボール部主将の神之園圭太さんは「自分たちのプレーを貫き優勝を目指したい」と話していました

25人が退団し28人が入団 小林市消防団入退団式開催

市消防団入退団式が4月3日、須木総合ふるさとセンターで開催されました。本年度は退団者25人、入団者28人。■退団者：須木地区▽第6分団=山中悦郎 小林地区▽第1分団第1部=野口隆一、柚木脇大志▽第2分団第2部=西田浩嗣、小野勝信▽第2分団第3部=久保田弘幸▽第3分団第9部=押川和幸、水流昌信▽第3分団第10部=坂本秀和▽第3分団第11部=松元孝治、金気大介▽第4分団第6部=永井憲男、吉園慎吾、松ヶ迫銀二▽第4分団第7部=下り藤利教、西水流豊和▽第4分団第8部=西種子田勇作、西ノ村一真

▽第4分団第15部=時任雄生 須木地区▽第5分団第3部=源 猛▽第6分団第4部=黒木啓 啓▽第7分団第5部=永迫裕幸▽第7分団第7部=二見康雄 野尻地区▽第10分団第5部=上田佳真▽第10分団第6部=深瀬祐介■入団者：小林地区▽第1分団第1部=田畑彰太、鳥井聖也▽第1分団第5部=金丸将大▽第2分団第2部=上田英貴、鶴岡誠二▽第2分団第3部=海野翔太▽第2分団第12部=川越哲史(再入団)、柘山聖樹▽第3分団第9部=南園知典、徳留聖士▽第3分団第10部=有馬貴晃、有馬大樹、有水誠、加藤隆一、



肥後市長に結果を報告する南西四区の皆さん。防災マップは、インターネットで閲覧可能。「小林市ポータル」で検索ください

全国防災マップコンテストで南西四区が優秀賞を受賞

3月19日、「第6回防災コンテスト記念シンポジウム」が防災科学技術研究所(つくば市)で開催され、南西四区が「e防災マップ」部門で優秀賞を受賞しました。e防災マップは地域の防災情報をネット上で編集、閲覧できる地図。下沖秀人区長は「さらに地域の防災力を高めていきたい」と話していました。



新入団員宣誓(第5分団第3部の清楓雅さん)

佐々木彬彦、西ノ原福太郎▽第3分団第11部=小浜貴大、山下直城▽第4分団第6部=菊田洸祐▽第4分団第7部=赤木竜太▽第4分団第8部=今別府武訓、西種子田正幸 須木地区▽第5分団第1部=橋本興平▽第5分団第3部=清楓雅、栗林裕太 野尻地区▽第8分団第2部=吉盛直樹▽第10分団第5部=迫尾将志▽第10分団第6部=益田賢一

4つの団体と1つの企業から 市に寄付や寄贈がありました

3月から4月にかけて、企業や団体から市や市教育委員会に多くの寄付、寄贈がありました。3月30日には、九州北清(株) (川井雄一代表取締役) が市に100万円を寄付。4月4日には、小林ライオンズクラブ (高岩和徳会長) が新中学1年生にワイヤーロック錠を420個、西諸小林地区危険物安全協会 (兒玉龍之介会長) が防犯啓発のクリアファイル820枚を寄贈。4月5日には、小林地区交通安全協会 (溝口誠二会長) が新中学1年生に反射タスキ450本と新小学1年生に下敷き450枚を、4月6日には、西諸地区生コンクリート事業協同組合 (西村賢一理事長) が、新小学1年生に防犯ブザーを410個寄贈しました。いただいた寄付や寄贈物については、市政運営や子どもたちの交通安全、防犯などに活用します。



Photo 1 九州北清(株)の川井代表取締役 2 小林ライオンズクラブの高岩会長 3 西諸小林地区危険物安全協会の兒玉会長 4 小林地区交通安全協会の溝口会長 5 西諸地区生コンクリート事業協同組合の外村公明副理事と小栗良雄専務理事

小林准看護学校に16人入学 准看護師の資格取得を目指す

4月8日、西諸医師会小林准看護学校の入学式がありました。新入生は小林西高へ同時入学し、同校に通いながら准看護師資格取得を目指します。式には家族、上級生や関係者らが出席。内村大介校長は「挫折の数だけ強く、優しくなれることを信じて研さんに励んでほしい」と話していました。



新入生代表の久保恵里香さんは「博愛、忠実、慈悲の校訓を心として、学業に実習に一生懸命努力します」と決意を述べました



この叙勲は、世界中のチーズ製造者や販売者、熟成士の中からチーズ生産への功労や将来性が認められた人に贈られるものです

チーズの本場フランスから 大窪和利さんが叙勲を受章

4月1日、チーズの本場フランスのギルドデフロマジェ協会の叙勲式が京都市で行われ、ダイワファームの大窪和利さんが叙勲を受章しました。式が日本で開催されるのは2回目で、今回、全国から10人が受章。大窪さんは「この叙勲に恥じぬよう、さらに美味しいチーズを作りたい」と話していました。

取り組みを紹介します

きずな協働体 今月は、須木地区

須木地区の未来を考える講演会を開催

す すきむらづくり協議会では、昨年2月21日に「持続可能なすきを考える講演会」を須木総合ふるさとセンターで開催しました。会場には130人を超える地域住民らが来場。講師には(一社)トクノスクール農村研究所理事長の徳野貞雄先生が登壇し、「60

歳から75歳はまだまだ元気な現役であり、プレミアム世代と呼んでいる。人口減少は人口現象と見て悲観的に捉えずに、今、暮らしている地域に自信をもって欲しい」と熱いメッセージをいただきました。今後、地域づくりへの積極的な参加がとても楽しみです。



今後も、我々プレミアム世代は先生と一緒に須木の将来のために取り組んでいきます。



安心・安全・健康づくりの推進
河野雄二 部長
河野雄二 部長

市内の観光地や歴史を巡る ウォーキングマップを発刊

4月に、市内の観光地を巡る「小林市ウォーキングMAP」を発刊しました。このウォーキングMAPは、市の観光や歴史、特産品スポットを、初級から上級にわかれた5つのコースを巡りながら発見することができます。目的地までの距離と時間ももちろん、消費カロリーも掲載。



マップは、回覧文書で全戸配布しています。また、スポーツ振興課でも無料で配布しています(問:スポーツ振興課TEL 22-7911)



種子田会長と肥後市長。同センターは、社会福祉協議会の職員3人が業務にあたります(問:23-5137)

安心安全なまちを目指し開所 成年後見センターこばやし

4月1日、成年後見センターこばやしが市社会福祉協議会内に開所しました。成年後見制度は、認知症や知的障がいなどで判断能力が不十分な人のために、不動産や財産管理などを法的に支援する制度。同センターでは成年後見業務、相談、市民後見人の育成や制度の普及・啓発を行います。